

HER2 低発現乳癌の生物学的意義と予後に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年10月21日～2027年12月31日

〔研究課題〕

HER2 低発現乳癌の生物学的意義と予後

〔研究目的〕

乳癌は HER2 陰性と陽性に分類することができ、HER2 陽性乳癌には HER2 を標的とした抗 HER2 療法が有効です。HER2 陰性には HER2 が低発現のものも含まれていて、原発乳癌の約 50%は HER2 低発現です。近年これまで HER2 陰性に分類されてきた HER2 低発現乳癌に対する、トラスツズマブ・デルクステカン等の抗 HER2 抗体薬物複合体の効果が報告されています。これにより、もともと HER2 陰性とされていた患者さんの治療の選択肢が拡大する可能性があります。そこで、HER2 低発現の定義や臨床病理学的特徴、生物学的意義、予後について検討します。

〔研究意義〕

HER2 陰性とされていた HER2 低発現の患者さんの治療の選択肢が拡大する可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2012年7月から2022年5月までの期間に帝京大学医学部附属病院で治療した HER2 陰性・低発現・陽性の乳癌患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、個人情報がわからないように加工します。研究終了後の情報については、帝京大学臨床研究センターで10年間保管の後に廃棄します。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 神野浩光 帝京大学医学部 外科学講座 教授

所属: 帝京大学医学部 外科学講座

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)